

わかる授業を目指して

羽島高校では「わかる授業」を追求するため、教員の校内研修として教科ごとの授業研究を進めています。今回（7月17日）は英語表現Ⅰ（英語）の授業でした。

授業のポイントは、コミュニケーション力をつけることです。「話す」「聞く」「読む」「書く」の4技能を総合的に使って、コミュニケーション力を高めていきます。英語表現Ⅰでは、特に文法理解に重きをおいて指導しています。

本時の授業では、各生徒が「のび太くんの部屋」に5つ以上のアイテムを描き、それらの配置を「There is ～/There are ～（～がある、～がいる）」を使ってクラスメートに伝え、聞き手は伝えられた通りに絵を描いて表すという活動をしました。「two Doraemons?」や「OK?」などと確認し合いながら活動している姿が印象的でした。グループ活動の後には、自分が伝えた文章を書いてまとめましたが、誤りがほとんど見られず、文法の定着が確認できました。

